

2015年3月6日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2015年10号)

短時間誘拐事件の連続発生

当地オ・グローボ紙のインターネットサイト「G1」によれば、本年1月中に、リオ市内バツハ地区の大型ショッピングセンター、「バツハ・ショッピング」駐車場内において、2人組の男が拳銃を使用して運転手を脅し、車ごと連れ去る短時間誘拐 (Secuestro Relampago) が2件発生しています。

また、同ショッピングセンターに隣接するスーパー、「カヘ・フォー (CARRE FOUR)」近くにおいても同様の事件が1件発生しています。

2月26日には、リオ市内ガベア地区のショッピングセンター「ガベア・ショッピング」駐車場においても、2人組の男が女性を脅して車ごと連れ去る事件が発生しています。

さらに、未確認情報ではありますが、数日前にも、レブロン地区の有名な展望台 (ミランチ・デ・レブロン) においても、同様の手口による短時間誘拐が発生したとの情報もあります。

いずれの事件も、誘拐後、数時間車で連れ回され、数カ所でショッピング、キャッシュカードの利用をさせられた後、リオ市北部地方のファベラ付近で解放されている点で共通点があります。

これらの事件はいずれも同一犯による可能性が高いとの警察の見方ですが、上記のように、これまでは犯罪の発生が少ないと思われていた観光地、ショッピングセンターで誘拐事件が多発していますので、十分注意して下さい

【対策】

- 駐車場では、車両に乗車した後、その場に留らず、直ぐに移動するようにしましょう (降車時も同様です)。
- 犯人の多くは銃器を所持しています。犯行に遭ってしまったら、決して抵抗せず、犯人の指示に従って下さい。
- 外部から見えるところに貴重品の入ったカバンを置かないようにしましょう。

